

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 避難計画と避難訓練 の問題点は	女川原発2号機の再稼働問題について、町民一人ひとりが真剣に考える時期がきています。しかしながら、パブリックコメントの内容や、県の検討会での内容など、町民にとっては、何も知らされることなく、可否の判断をする材料が不十分というのが現状ではないでしょうか。
	このような状況において再稼働の同意はすべきではないと考えます。そこで伺います。
	(1) 県の検討会での話し合いの内容はどのようなもので、いつまで続く見通しですか。
	(2) 特に、5km圏以上(UPZ)の町民の方々は避難訓練もしたことはなく、いったいどこへ逃げればよいのか。車のない人はどうすればよいのか。問題は道路が1本しかないこと、いざとなったら交通渋滞になり逃げられない。との不安、不満の声が多く聞かれます。まずはそれらの声にしっかりと答えていくべきでは。
	(3) 自主避難という言葉がこれまでの答弁で出ています。改めて伺いますがPAZ、UPZに係らず自主的に避難してよいということですか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 無料低額診療事業について	年々高齢化が進み、年金生活者が増える中、生活困難などの経済的な理由によって、必要な医療を我慢しているという話も聞こえてきます。
	無料低額診療事業とは、低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業です。
	ぜひ本町でも取り入れを検討してはいかがでしょうか。見解を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 大原住宅にエレベーターか階段を	平成 29 年 6 月定例会において、前同僚議員の一般質問の中で、大原住宅 4 号棟と 5 号棟の間にエレベーターか階段の増設をとの質問がありました。
	答弁として、高齢化率の高い本町においては、住まわれる方にとって、生活の利便性、緊急避難に即した対応を考えていくのは当然のことと認識しているとし、階段を新たに設置するということに関しては、引き続き検討していくとのことでした。
	あれから 2 年半以上経過しています。ぜひ検討した結果としての前向きな答弁を求めます。
	(1) これまでに検討した内容は。
	(2) 今後の見通しは。
	(質問の相手：町長・担当課長)